

市民の意見

発行：市民の意見30の会・東京

NO.137

2013/4/1

【毎偶数月1日発行】



発行者の住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-29-12-305 TEL:03-3423-0185 FAX:03-3402-3218

郵便振替：00120-9-359506 eメール：iken30@mwb.biglobe.ne.jp ホームページ：http://www1.jca.apc.org/iken30

* 隔月刊/購読料・送料とも年2500円、一部400円、協会の会費年5000円、敬老・障がい者会費年2000円、グリーン会費年1000円



高橋良松「風景」(無言館所蔵)

(作者の経歴は3ページ)

窪島誠一郎「無言館を訪ねて 戦後画学生「祈りの絵」第Ⅱ集」(講談社)より

良松は家の近くの観音崎の海辺を絵にするのが好きだった。とくに波の絵を描くときには、半日ぐらい砂浜にねそべっていた。遠くから打ち寄せてくる波、ひいてゆく波……良松はじつとそれをみつめていた。絵を描くのは一に観察、二に観察、いつもそういつていた良松だった。美校を卒業後、短い結婚生活を経て出征し大好きな観音崎を描いたスケッチ帖を何冊か遺した^{のこ}だけで、良松は死んだ。戦死の原因は栄養失調とマラリアといわれているが、家族でさえくわしいことは知らない。

市民の意見 137号 目次

●巻頭詩「ふるさとの春」

山本和夫 2

●特集 安倍政権の虚実

「3本の矢」の行方

宮崎礼二 8

生活保護制度改革を考える

和久井みちる 11

今なら原発再稼働は止められる！

杉原浩司 14

長いものに巻き込まれた政治家よ

玄 香実 16

●「暴力」の発生を考える

八柏龍紀 18

●シリア難民と「アラブの春」

細井明美 20

●原発運動を国際連帯運動へ

崔 勝久 22

●脱原発と真剣に取り組むドイツ(2)

永井潤子 24

●運動の現場から

原田隆二 27

嫌な世の中……

對馬 芳 28

川崎市の空襲・戦災を記録する

大木晴子 29

2013年3月の新宿西口地下広場

●文化

連載エッセイ③④「わかつちやいないのである」

映画の紹介『海と大陸』

鈴木一誌 17

本の紹介『テレビに映らない世界を知る方法』

本野義雄 30

まんが ふしぎの国のありか ④

天野恵一 31

まんが まつだたえこ

29

市民意見広告運動 討論集会の報告

野澤信一 4

事務局だより

吉田和雄 32

会計報告

33

読者のおたより

34

編集後記

36

◆題字 安西賢誠

36